

令和4事業年度

決算報告書

第19期事業年度

自：令和4年4月 1日

至：令和5年3月31日

国立大学法人九州大学

令和4年度決算報告書

国立大学法人九州大学

(単位：百万円)

| 区分 | 予算額 | 決算額 | 差額 (決算－予算) | 備考 |
|----------------------|---------|---------|---------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 38,725 | 39,426 | 701 | (注1) |
| うち補正予算による追加 | - | 551 | 551 | |
| 施設整備費補助金 | 2,514 | 2,419 | △ 95 | |
| うち補正予算による追加 | - | 11 | 11 | |
| 船舶建造費補助金 | - | - | - | |
| 補助金等収入 | 2,000 | 5,808 | 3,808 | (注2) |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 | 73 | 31 | △ 42 | |
| 自己収入 | 59,582 | 67,288 | 7,706 | |
| 授業料、入学料及び検定料収入 | 10,128 | 9,956 | △ 171 | (注3) |
| 附属病院収入 | 48,705 | 55,141 | 6,435 | (注4) |
| 財産処分収入 | - | 165 | 165 | (注5) |
| 雑収入 | 748 | 2,025 | 1,276 | (注6) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 18,837 | 19,984 | 1,147 | (注7) |
| 引当金取崩 | 351 | 333 | △ 18 | |
| 長期借入金収入 | 4,387 | 3,751 | △ 635 | (注8) |
| 貸付回収金 | - | - | - | |
| 目的積立金取崩 | - | 1,498 | 1,498 | (注9) |
| 引当特定資産取崩 | - | - | - | |
| 計 | 126,471 | 140,540 | 14,069 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 94,380 | 102,780 | 8,400 | |
| 教育研究経費 | 45,427 | 48,746 | 3,319 | (注10) |
| うち教育・研究基盤維持経費(補正予算分) | - | 551 | 551 | |
| 診療経費 | 48,952 | 54,033 | 5,080 | (注10) |
| 施設整備費 | 6,974 | 6,201 | △ 773 | (注11) |
| うち災害復旧事業 | - | 11 | 11 | |
| 補助金等 | 1,626 | 5,505 | 3,879 | (注12) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 18,837 | 19,378 | 541 | (注13) |
| 貸付金 | - | - | - | |
| 長期借入金償還金 | 4,653 | 4,554 | △ 98 | |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金 | - | - | - | |
| 計 | 126,471 | 138,420 | 11,948 | |
| 収入－支出 | - | 2,120 | 2,120 | |

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった補正予算等の追加交付551百万円等により、予算額に比して決算額が701百万円多額となっています。
- (注2) 予算段階では予定していなかった地方公共団体からの補助金の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が3,808百万円多額となっています。
なお、本収入には、授業料等減免費交付金が415百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注3) 授業料免除実施額の増による授業料収入の減収等により、予算額に比して決算額が171百万円少額となっています。
- (注4) 診療実績の増加等により、予算額に比して決算額が6,435百万円多額となっています。
- (注5) 予算段階では予定していなかった土地を売却したことにより、予算額に比して決算額が165百万円多額となっています。
- (注6) 予算段階では予定していなかった施設使用料の増収等により、予算額に比して決算額が1,276百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が1,147百万円多額となっています。
- (注8) 事業の一部繰越等により、予算額に比して決算額が635百万円少額となっています。
- (注9) 予算段階において確定していなかった前中期目標期間繰越積立金の取り崩しにより、予算額に比して決算額が1,498百万円多額となっています。
- (注10) 教育研究費については、(注9)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,319百万円多額となっています。診療経費については、(注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が5,080百万円多額となっています。
- (注11) (注8)に示した理由等により、予算額に比して決算額が773百万円少額となっています。
- (注12) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,879百万円多額となっています。
- (注13) (注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が541百万円多額となっています。